

小海町 公民館報



町花・サラサドウダンツツジ



令和8年 小海町二十歳の集い（写真提供：イーグル・イデ）

も く じ

小海町二十歳の集い開催……………	2 ページ
アイラブ小海 (243)……………	2 ページ
羅針盤……………	2 ページ
みんなの楽集館……………	3 ページ
教育委員会だより……………	4～5 ページ
町の広報……………	6～17 ページ
やすらぎ園だより……………	18～21 ページ
美術館ニュース……………	22 ページ
小海の植物……………	22 ページ
フォトニュース……………	22 ページ

令和8年2月1日現在

() 内の数字は前回対比です

世帯数	1,944戸(－12)
人 口	男性 2,030人(－13) 女性 2,098人(+ 3) 合計 4,128人(－10)
発行日	令和8年2月13日
発行者	小海町公民館
編集者	小海町公民館報編集部 長野県南佐久郡小海町豊里285番地 T E L 0267-92-4391
印刷所	臼田活版株式会社

第
565
号

令和八年小海町

二十歳の集い開催

令和八年一月三日(土) 小海町二十歳の集いが小海町総合センターに於いて開催されました。今年は男性十七名、女性二十名の計三十七名が対象となりました。会場には、凛としたスーツ姿や色鮮やかな振袖に身

を包んだ新成人の皆さんの姿が並びました。久しぶりに顔を合わせた同級生同士が、自然と笑顔になり、思ひ出話を花を咲かせる様子からは、この日が人生の大切な節目であることが感じられました。

式典では小海町長より、社会へ踏み出す新成人に向けた激励の言葉と力いっぱい元氣玉が贈られ、参加者一人ひとりが、これまでの歩みとこれからの未来に思いを巡らせる時間となりました。

最後に新成人を代表して篠原龍生さんより、家族や地域、友人への感謝の気持ちと、これからの決意が力強く述べられました。二十歳という節目を迎えた皆さんが、それぞれの道で輝かれることを心より願っています。



マイラブ小海 私のういじん (243)



東馬流 松本 叶夢

小海町で生まれ、幼い頃にスケートと出会い、現在は大学で学びながら競技に取り組んでいます。六歳の頃に競技を始めて以来、スケートは私の生活の中心にあり、日々の喜びや悔しさを通して、多くのことを学ばせてくれました。リンクに立つ時間だけでなく、練習へ向かう道や仲間と過ご

す時間も含めて、スケートは自分を形づくる大切な存在です。中学生までは純粹に楽しんでいたスケートも、次第に結果を求められるようになり、思うような成果が出ずに悩む時期を経験しました。苦しい練習が続きます。自信を失いかけたこともありますが、それでも、諦めずに続けてきた日々や、うまくいかなかった経験の一つひとつが、今の自分の土台になっていると感じています。

そんな中でも競技を続けてこられたのは、家族や指導者の方々、共に切磋琢磨してきた仲間、そして身近で支えてくれた多くの人の存在があったからです。小海町という温かい環境の中で、競技に真剣に向き合えたことは、私にとって大きな支えであり、これからも忘れることのない大切な財産です。

現在では将来について考える機会も増え、これまで漠然としていたものが、少しずつ具体的な目標として見えてきました。スケートを通して身につけた、目標に向かって努力し続ける姿勢や、周囲への感謝の気持ちは、これから先どんな道に進んだとしても、自分を支えてくれると信じています。最後に、二十歳を迎えたみんなへ。これまでそれぞれ



ず頑張ろうね！

れ違う場所、さまざまな経験を重ねてきたと思います。これから先、不安や迷いを感じることもあるかもしれませんが、自分分らしさを大切にしながら、一歩ずつ前に進んでいきましよう。困ったり、辛い時は私が優しく包み込んであげるので安心してください。また成長した姿で会える日を楽しみにしています。みんな、無理せず頑張ろうね！

羅針盤

二月に入り、寒さが厳しい日が続いている。近年、日本では春と秋の存在感が薄れ、夏と冬の「二季」が

はつきりと感じられるようになってきた。桜が咲いたと思えばすぐに夏日が続き、秋の涼しさを味わう間もなく冬の寒さが訪れる。かつては四季の変化に合わせて衣替えをし、旬の食材や行事を楽しむことで、自然の流れを身近に感じる事ができた。しかし今では、急激な気温変化に対応することが優先され、季節を味わう余裕が失われつつある。この二季化は、私たちの生活リズムや心のゆとりにも少なからず影響を与えている。

私たち現代人は、日々の様々な変化に翻弄され、心をすり減らして生活を送っている。そんな時代だからこそ、短くなった春や秋の一日一日を大切に、風の匂いや空の色など、さまざまな季節の変化に意識を向けることが、これからの暮らしには必要なのではないだろうか。

みんなの楽集館



トレーニングルームへ新機材が導入されました



北牧楽集館トレーニングルームでは、町民の皆さまに、より安全で効果的な運動へ取り組んでいただけるよう、このたび新たなトレーニング機材を導入しました。体力づくりや健康維持、運動不足の解消を目的とした方はもちろん、これから運動を始めたい方にもご利用いただける内容となっています。操作が分かりやすく、無理のない負荷で使用できる機材を中心に整備しており、幅広い年代の方が安心して利用できる環境を整えております。日常的な運動習慣のきっかけづくりとして、ぜひ北牧楽集館トレーニングルームをご活用ください。



新規導入機材

ベンチプレスマシン／インクラインベンチ／ダンベル1～10kg／懸垂器具／振動マシン

ご利用について

月曜日～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00
記載の時刻で完全閉館となりますのでご注意ください。
町民無料 町外の方は1回100円

※トレーニングルームのご利用には、初回講習を受講していただく必要があります。講習を希望される方は事前にお電話でご予約ください。

北牧楽集館内 生涯学習課生涯学習係 TEL 0267-92-4391

小海町図書館より休館のお知らせ

2月11日(水)から2月16日(月)まで、蔵書点検のため休館とさせていただきます。(10日、17日は通常休館)
この期間中、図書館学習室も閉室になります。臨時学習室をご利用ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

臨時学習室のご案内

蔵書点検などにより図書館学習室が閉鎖になります。
下記の場所を学習室としてご利用ください(当日要申込・私語厳禁)。

2月10日(火)～2月17日(火) 9:00～21:00

1階 第1会議室

※ただし2月14日(土) 13:00～17:00は利用不可

今月の図書館 新刊ピックアップ

■猫とウサギと龍の本 松浦寿輝

猫、ハムスター、ウサギ…

そんな主人公と本をめぐる話など4編からなる童話です。小さな生き物目線で人間世界を見つめる喜びと切なさが描かれています。そして、一話一話の結末は、読み手に委ねられ余韻が残ります。

小さな生き物が主人公だからか、命に限りがある事をより感じさせる、なんとも不思議な大人向けファンタジー。

■日本人と植物 衣食住から毒と薬まで 船山信次

薬学を専門とする著者の視点で、古代からヒトと深い関わりをもつ植物の「毒にも薬にもなる」という側面にスポットを当て、その関係と歴史を紐解いています。

専門的な内容と共に、私たちの生存に欠かせない衣食住だけでなく、鑑賞などの文化面についても幅広く触れています。和食に使われる食材はほぼ海外から導入されたもので、じつはグローバルな食卓!といった話が興味深く、植物をみる視点が広がりそうな一冊です。

2月の企画コーナー

- 方言
- I LOVE ME
- ただいま充電中
- 天神様と平安



「ギャラリー創」からのお知らせ

○第25回地元主婦たちの創作展

3月2日(月)～3月22日(日)

日々の暮らしの合間に丹精を
したパッチワーク・陶芸・絵
画メッシュフラワー・折り紙
・リメイク・刺繍・編み物・
押し花・パンフラワー・えん
ぴつ画他 展示

松原湖観光案内所

電話 93-2005

水曜日休館

教育委員会だより
教育こうみ

共育の広場

Vol.91
…2月号…

小海小学校 3学期が始まりました

1月8日より3学期が始まりました。始業式では4年生代表児童より「友だちを思いやって生活するために、自分の気持ちばかり言わず相手の気持ちを考え、自分の使っている言葉を見直したい」「自分が考えたことをノートに書いてみたい。それでも分からない時は自分から『教えて』『助けて』と言いたい」と、よりよい自分を目指した具体的な目標の発表がありました。続いて学校長からは干支についての話や、大谷翔平選手が高校時代から続けている「目標達成シート」の紹介があり、「1年1年を大切にすると同時に、なりたい自分を思い描いて今年の目標を立ててほしい」との言葉がありました。



さて、今年もウインタースポーツの時期がやってきました。12月から1月にかけて行われたスケート教室では、南佐久スケート協会指導者の会の方が講師となって、子ども達を指導してくださいました。保育園のころからスケートに慣れ親しんでいる子ども達。上達も早く、自信を持って楽しそうに滑る子ども達の表情を見ることが出来ます。保護者の方にも靴紐縛りや見守り等にご協力いただきました。

46日という短い3学期ですが、なりたい自分のために充実した日々を送れるようにしていきたいと思います。

小海中学校 3学期が始まりました

新学期が始まり、生徒たちは元気よく登校しています。3年生は1月9日(金)に総合テストを行いました。進路決定の判断をするための重要なテストです。「結果が出て、休みに頑張ったかいがあった。」「少し勉強すれば良かった。」などの感想がありました。いよいよ追い込みの時期です。体調には気をつけてやり遂げて欲しいです。



2年生は、1月13日(火)に初めて中心となり委員会を運営しました。「初めてでとても緊張した。」「早く慣れてスムーズに進行したい。」と話してくれました。これからの活躍に期待します。写真は生徒会引継ぎ会の様子です。

1年生は地域について考える学習を行っています。小海中学区にはどんな仕事があるのか、将来、地域の発展をどう進めたらよいかを考え、実際に行動に移そうとしている生徒もいます。「自分の住んでいる場所で知らなかったことが多い。知ることができて楽しかった。」「自分のふるさとをもっともっとよくしたい。」と感想がありました。

3学期は登校日数47日。あっという間に過ぎていきます。全校で3学期を充実させ良い締めくくりができるように日々の取り組みを大事にしたいです。

今!小海高校 小海高校、進化中!

小海高校では、小海町と連携し、教育現場における生成AIの安全で有効な活用を研究してきました。11月～12月には、1年生の「探究の時間」において、PwCコンサルティングによる生成AI講座を開催し、最新技術を学び、各種課題の解決策をAIと共に模索しました。若者の柔軟な発想と技術が融合し、生徒の未来を拓く新たな一歩となりました。2学年では生成AIを用い、実際に志願理由書を作成するワークショップを行いました。AIに質問をさせ、それに答えていくという方法を学びました。一方的にAIに頼るのではなく、自ら考えながら使いこなせるようになると良いと分かりました。



小海高校では、来年度から金曜日を4時間目(午前)までの授業とすることを計画しています。これにより、金曜日の午後は、検定や補習、面談など日常の活動も含め、必要な時に必要な活動ができる柔軟な仕組みにしたいと思います。生徒と教職員が主体的に学習・部活動・探究・地域交流など多様な活動に取り組むことも可能となります。この活動を通して、主体性や協働性を育み、自己肯定感や進路意識の向上、地域貢献など数値化できない価値を生み出し、新たな小海高校の魅力を創造していきたいと考えています。

教育委員会情報 1月

●総合教育支援会議

(令和8年1月22日)

- ・小中学校の学校長と三町村長（小海、北相木、南相木）との懇談が行われました。

●町教育委員会、中学校組合教育委員会 9月合同定例会

(令和8年1月22日)

- ・令和7年度予算要求の概要について確認しました。

●第3回学校運営委員会

(令和8年1月29日)

- ・学校運営について意見交換が行われました。



熱い共育人

vol.89

小海高校

数学

飯田 和紀



皆様、こんにちは。この度、小海高校に赴任いたしました飯田和紀と申します。歴史あるこの地域の教育に携わることになり、身の引き締まる思いがあります。私はこれまで、生徒たちが自らの可能性を信じ、粘り強く挑戦し続ける姿勢を育むことを大切にしてきました。小海高校の豊かな自然環境と、地域の方々の温かい眼差しの中で、生徒一人ひとりが自分らしく輝けるよう、微力ながらサポートしていきたいと考えております。

さて、私の最大の趣味は何といっても「釣り」です。特に、静かな溪流や湖畔で魚との駆け引きを楽しむ時間は、私にとって何よりのリフレッシュであります。もちろん本流の「鮎釣り」は夏の熱い時期であっても熱中してしまいます。この地域には素晴らしい溪流・千曲川本流のスポットがたくさんありますので、時期になるとワクワクしているところでもあります。おすすめの場所や、地元の釣り情報がございましたら、ぜひご教示いただければ幸いです。常日頃より、釣りを通して学ぶ「忍耐」や「自然への敬意」、そして「準備の大切さ」は、教育の現場にも通じるものがあると感じています。じっくりと生徒たちと向き合い、共に成長できるよう徳を育む環境を築いていきたいと思っています。

地域の皆様には、今後様々な場面でお世話になるかと思います。学校と地域が手を取り合い、子供たちの未来を育てていけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ともに暮らす、つながる ～地域の多文化共生推進～

外国人住民アンケートを実施しました



小海町では、町内に暮らす外国人住民の生活実態や課題を把握し、今後の多文化共生のまちづくり施策に活かすことを目的として、令和7年（2025年）11月に「多文化まちづくりアンケート調査」を実施しました（表1）。対象は町内に住民登録のある外国人住民192人で、93人から回答を得ており、回答率は50%となりました。アンケートは5か国語で実施し、ベトナム語の回答が最も多く、次いでインドネシア語、日本語となりました。

回答者の多くは20～30代の若年層で、主に農業や製造業、宿泊業など、町の基幹産業を支える担い手として就労しています。出身国はベトナムを中心に、インドネシア、スリランカなどアジア地域が多く、在留資格では「特定技能」をはじめとする就労系資格が大半を占めています。また、約半数が既婚で、配偶者や子どもなど家族と離れて就労している外国人住民が多い実態がうかがえました。

生活面での課題として最も多く挙げられたのは、「日本語でのコミュニケーション」に関する困りごとでした（表2）。行政手続きや医療、日常生活に必要な情報の理解が難しいと感じている人が多く、言葉の壁が生活上の大きな課題となっていることがうかがえます。また、交通手段や町内での移動、税金や年金制度への理解などについても、不安や負担を感じている声が見られました。

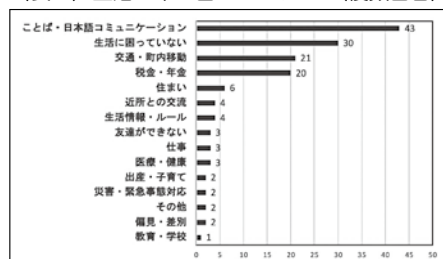
一方で、「小海町は住みやすい」と感じている回答も多数を占めており、就労環境や自然環境、地域の落ち着いた暮らしやすさを評価する声も多く寄せられました。地域の日本人と挨拶や会話を交わすなど、何らかの形で地域との関わりを持っている人も多く、今後の交流の広がりが期待されます。

本調査では、アンケートに加えて、町内の外国人住民および外国人受入事業者へのインタビューも実施しました。アンケート結果とインタビューから得られた情報を総合的に分析し、外国人住民の生活実態や就労、地域との関わりの実情を踏まえながら、今後の町の取り組みを検討していきます。

(表1) アンケート実施概要

対象者	小海町内に住民登録のある外国人住民 192名 (2025年10月1日時点の登録情報)
調査期間	●アンケート依頼送付：2025年10月24日 ●アンケート回答期間：2025年11月1日～11月30日
郵送物	アンケート調査協力依頼書の送付（郵便） ●対象者への協力依頼書および回答用QRコードの郵送（無記名式のオンライン回答） ●町内外外国人受入事業者への協力勧奨依頼
企画・実施	小海町役場 総務課 渉外戦略係

(表2) 生活の中で困っていること（複数回答）



広報こうみ

第213号

<http://www.koumi-town.jp/>

E-mail koumi@koumi-town.jp

第46回全国中学校スケート大会に出場しました (1月31日～2月3日開催)



もくじ

第46回全国中学校スケート大会に出場しました	6
町税等納期のお知らせ／申告相談のお知らせ	7
佐久税務署から確定申告のお知らせ	7
令和7年度 地区懇談会の報告	8～9
叙勲伝達式を行いました	9
コンビニ交付のメンテナンスについてお知らせ	9
町政ご意見箱 ご意見一覧	10
多文化共生事業としてボツワナ大使が来町しました	11
小海町・佐久穂町同盟協定	11
おいでよ佐久穂 イベント情報	12

国民年金保険料を納付書で納めている方へ	13
小海町交通安全協会 フォトニュース	13
中部日本横断自動車道建設促進大会に出席しました	14
令和8年度 長野県シニア大学佐久学部の学生募集	14
佐久総合病院付属小海診療所診療体制変更のお知らせ	14
中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する「環境影響評価準備書」及び「都市計画案」を公表し説明会を開催	15
八峰の湯からのお知らせ	16
子育て支援だより	17
やすらぎ園だより	18～21



町税等納期のお知らせ〈令和8年2月の納期は下記のとおりです〉

口座振替日	国民健康保険税	介護保険料	後期高齢者医療保険料
2月26日(木)	8期	8期	8期

今年度の税金等の納付忘れは
ございませんか？

納付忘れがないか今一度ご確認
をお願いいたします。

町税等の口座振替をご利用の方は納付月の26日が振替日となります。

前日までに残高の確認をお願いいたします。

※26日が土日・祝日の場合は翌平日に振替えます。

また、窓口納付の方につきましては、納期限は各納付月の月末となります。

窓口納付の方は、便利な口座振替のご利用をおすすめします。

納税が遅れますと、督促状が送られ督促手数料が発生しますので、必ず納期限内に納税をお願いいたします。

申告相談のお知らせ

令和8年2月16日(月)から3月16日(月)の期間に、役場2階の公会議室において所得税・町県民税の申告相談を開催します。申告における注意点等は1月下旬に全戸に配布しました「申告相談のお知らせ」をご確認ください。

申告が必要な人

- ◇給与所得者で、2ヶ所以上から給与をもらっている、給与と所得以外の所得がある
- ◇年金受給者で、公的年金に係る雑所得以外の所得がある
- ◇初回の住宅借入金特別控除及び医療費控除の適用を受ける
- ◇事業所得、不動産所得、譲渡所得、一時所得がある

持ち物

- ◇税務署からのお知らせはがき、申告関連書類一式
- ◇マイナンバーカードもしくは番号確認書類及び身元確認書類
- ◇申告者本人の印鑑(通帳印)と通帳などの口座情報があるもの

留意事項

- ◇未申告の場合は所得に応じた補助、軽減制度等の対象外となりますのでご注意ください。

その他

- ◇確定申告の書類は役場ロビーに設置してあります。
- ◇ご自宅からパソコン、スマホで確定申告ができる「e-Tax」での申告も可能です。
「e-Tax」については国税庁ホームページをご覧ください。



ご不明な点は税務係までお問合せください。電話 0267-92-2525

佐久税務署から確定申告のお知らせ

所得税・個人消費税・贈与税の確定申告会場を次のとおり開設いたします。

期 間	2月16日(月)～3月16日(月) ※土日祝日を除く
会 場	佐久税務署 別館2階会議室
時 間	相談受付：午前8時30分～午後4時 相談開始：午前9時～

- ◆上記の確定申告期間中に来署する方は、国税庁LINE公式アカウントによるオンライン事前予約をお願いします。
※当日の相談枠には限りがありますので、オンライン事前予約をおすすめします。

確定申告会場では、マイナンバーカード方式によるスマホ申告を行っています。

【来署する際にご持参いただくもの】

- ・お使いのスマートフォン
- ・マイナンバーカード及び設定したパスワード2種類(数字4桁のもの・英数字6～16文字のもの)



国税庁LINE
公式アカウント

- ・申告に必要な書類(収入や控除に関する書類)
例：給与や年金の源泉徴収票、生命保険料等の控除証明書など

《申告書等の送付先について》

郵送先：〒385-8622

関東信越国税局業務センター佐久分室

※郵便番号と名称をご記載ください
(住所の記載は不要です)。

- ◆確定申告に関する情報や、ご不明な点がございましたら、国税庁ホームページ「確定申告特集」をご覧ください。



国税庁ホームページ
〈確定申告特集〉

令和7年度 地区懇談会の報告

令和7年度地区懇談会を分館単位11箇所で開催し、町民の皆様から102件のご意見・ご要望をいただきました。ご出席ありがとうございました。以下に懇談会の概要を報告します。

期 日	地 区	参加者	期 日	地 区	参加者
11/6	松原・八那池	8名	11/20	親沢・川平	14名
11/7	鎰掛	13名	11/21	笠原・宿渡・卒道	19名
11/12	馬流・杉尾	27名	11/26	東馬流・本間川	19名
11/14	本間・宮下・溝の原・五箇	21名	11/27	大畑・芦谷・箕輪・小海原	15名
11/17	土村	14名	11/28	稲子・芦平	12名
11/18	本村・中村・大州	11名	参加者計		173名

主な質問、意見、提案、要望とそれらに関する対応

1. 総務課関係 [15件]

◇空き家対策について

- ・荒れた空き家や宅地についてのご意見がありました。町は特定空き家の制度や取壊し補助を設けていますのでご活用いただくとともに、ご不安がありましたらご相談をください。
- ・空き家問題に対する対策として空き家バンクについて、昨年の調査結果に基づいて今後、所有者との手続きを行い、掲載を進めてまいります。

◇村上団地について

- ・37区画のうち7区画が販売済みであるものの、資材高騰の影響により販売数は伸び悩んでいます。町の魅力などを効果的に発信し、媒体や手法も工夫しながら宣伝・広告の強化に一層努めていきたいと考えています。

◇防災無線について

- ・屋外で防災無線が聞こえづらい場所について、電力の関係から電柱が付近にあることが必要など一定の条件がありますが、町内を網羅できるよう段階的に整備を検討してまいります。

2. 町民課関係 [27件]

◇町営住宅について

- ・現在、町の町営住宅は158戸あります。老朽化の進んでいる住宅を含め長寿命化計画を策定し、住宅の建て替え、改修を進めてまいります。また、定住促進につながる住宅についても整備を検討してまいります。

◇タクシー利用助成について

- ・町外医療機関用のタクシー券を含め複数のタクシー利用助成を行っております。これまでも、利用の仕方等を防災無線や個別配布、広報によりお知らせを行ってきましたが、引き続き制度の周知に努めます。

◇障がい者・高齢者等の住まいについて

- ・町には障害のある方や高齢者・子育て世代の方など様々な方が暮らしています。誰もが安心して、その人らしい暮らしを営める、小海町らしい住まい（福祉住宅）づくりを進めてまいります。
- ・実際に住む方が疎外感・孤独感を感じにくくなるようコミュニティスペースなどを計画していきたいと考えています。
- ・やすらぎの家等の現状の入居者数を考慮して、住宅の建設をする必要があるとの意見がありました。

3. 産業建設課関係 [46件]

◇土村公園・八峰公園について

- ・公園整備の計画と財源・事業規模について質問がありました。5年間の計画で財源は国庫補助や起債を見込んでいます。
- ・公園整備後の維持管理費について質問がありました。維持管理費は現在と比較すると一定程度増加しますが、国の補助金を活用しつつ、管理方法などを工夫して過度な負担増にならないよう配慮してまいります。
- ・公園や関連施設に関する具体的な懸念や要望がありました。公園は防災公園の機能を備えたものを計画しており、主に1次避難を目的として整備します。
- ・建設予定地の中学校グラウンド横には日頃から多くの車が駐車しており、駐車スペースの確保についての質問がありました。20台の駐車スペースを予定しているほか、多目的広場部分にも駐車することができるよう進めていく予定です。

◇道路・水路・河川等の整備について

- ・各地区からの要望箇所などは現場を確認し、緊急性を判断して順次進めて参ります。

◇遊休農地や荒廃農地について

- ・ワイン用ブドウ等を植えることにより遊休農地や荒廃農地を減らす方向で計画を進めています。
- ・農振農用地について、太陽光発電等で活用したいとの意見がありました。農振農用地の見直しは農業委員会による許可や県との協議等を経る必要がありますので、まずは町へご相談ください。

◇熊の被害について

- ・熊被害対策として、森林施策の見直しや獣のえさとなる雑木の活用、猟友会の高齢化への対応を求める意見がありました。熊を里に近づけない方策の研究を行うとともに、国や県でも人手不足に対して、動きが出始めていることから引き続き状況把握進めてまいります。

4. 教育委員会 [14件]

◇小海なかよし児童館について

- ・児童館の増築から子育てを町としてアピールし、移住者を増やすための具体的な施策を考えてほしいとの要望がありました。子育て支援を充実し、人口の減少傾向を緩和できるよう進めてまいります。
- ・児童館の材料に地元産の木材の活用を求める意見がありました。建築費高騰により地元産の使用は難しいものの、子どもに配慮した木造建築とし、現児童館に近い形で整備を進めます。
- ・未就学児を持つ家庭が冠婚葬祭などで子どもを見られない場合の支援について質問がありました。町では、保育園において有料の一時保育制度がございます。

叙勲伝達式を行いました



高市早苗内閣総理大臣から、元南部消防署長の黒澤三喜男氏に瑞寶雙光章（ずいほうそうこうしょう）が贈られました。

コンビニ交付のメンテナンスについてお知らせ

住民票等の発行ができるコンビニ交付システムは、情報システム標準化対応にむけたシステムメンテナンスのため、2月21日(土)～23日(月)の期間の終日、サービスが停止となりますので、ご承知おきください。なお、2月24日(火)以降はご利用いただける見込みです。

ご不明点等ありましたら、役場総務課窓口係までお問い合わせください。



町政ご意見箱 ご意見一覧 1月分

質問 1	<p>八ヶ岳ビューロードの景観：第4番カーブから八峰の湯まで道路沿いの雑木（主にニセアカシヤ・オニグルミなど）が伸びて八ヶ岳連峰の景観が損なわれておりますので、冬季間に整備していただきたい。また、十数年前には景観の支障木となっていなかった幼木が現在では支障木となっておりますので、伐採が必要と思います。八ヶ岳ビューロードにつきましては、所有者の皆さんと松原湖高原景観育成協定を結び長野県景観条例第32条により景観育成住民協定として認定されておりますので、整備、伐採などご協力いただけることと思います。</p>
回答	<p>このたびは、八ヶ岳ビューロードの景観維持について貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご指摘の区間において、樹木の成長により眺望が妨げられている箇所があることは、町としても認識しております。当該沿道は民有地が多く、伐採等の実施には土地所有者の皆さまのご協力や、道路管理者である県との調整が必要となります。いただいたご意見を踏まえ、現地確認を行いながら、協議のうえ優先度を検討し、可能な範囲で冬季間の整備に向け調整してまいります。</p> <p>今後も景観の保全に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。</p>
質問 2	<p>プティリッツァの「おいでなんし小海町」看板について：土地関連の問題で撤去した看板を、南牧村との境界付近に設置すべく検討しているとの回答（2024年2月9日）がありましたが、早急に設置していただきたいと思います。検討するが先延ばしの理由となつてはいけません。また、佐久穂町との境界に設置された看板は色褪せてますので、上塗りが必要だと思いますので実施してください。国道299号レストハウスふるさとの看板は問題ないと思います。</p>
回答	<p>「おいでなんし小海町」看板につきましては、土地所有者の事情により撤去し、町で保管しております。新たな設置につきましては、南牧村境付近を含むエリアを検討しておりますが、土地所有者の同意や景観・安全面、維持管理上の条件を満たす必要があるため、現時点で設置場所を確定できておりません。調整に時間を要しているのは、行政として適切な場所を慎重に選定しているためです。</p> <p>また、佐久穂町境界付近の看板については、現地確認のうえ補修・塗装が必要か判断し、対応してまいります。引き続き、適切な設置に向けて調整を進めてまいりますので、ご理解をお願い申し上げます。</p>
質問 3	<p>松原坂のヘヤピンカーブ沿いのニセアカシヤなどの雑木が茂り、見通しが悪く、冬場は凍結しますので伐採していただきたい。また、それにより茂来山の眺望もよくなります。</p>
回答	<p>現地を確認し、佐久建設事務所等、関係機関と協議し、冬期間の交通の安全の確保や良好な景観の確認に努めます。</p>
質問 4	<p>松原湖周辺の景観維持について：2020年のご意見箱に対する回答では「個人の財産権に配慮しながら、景観保全の取り組みについて検討します」とのことでした。2023年のご意見箱に対する回答は「観光協会の意見も取り入れながら観光地としてより魅力アップする整備を進めてまいります」とのことでした。八ヶ岳ビューロードの景観育成住民協定などを参考にして、時間はかかりますが具体的な行動を起こさなければなりませんので本気で取り組んでください。</p>
回答	<p>松原湖畔周辺の景観につきましては、今年度は花火大会に向けて湖畔の雑木を少しずつ伐採し、地域住民の皆さんや花火大会に訪れた方々に大変喜ばれました。</p> <p>今後、松原湖の眺望が更によくなるよう地域の皆様や観光協会の意見を参考にしながら景観整備の優先順位をつけて取り組んでまいります。</p>

多文化共生事業としてボツワナ大使が来町しました

12月19日、小海小学校で特別な国際交流の機会が実現しました。アフリカ南部のボツワナ共和国から、駐日大使館のセケレ三等書記官をお迎えし、ボツワナの文化や暮らしを知る交流授業を行いました。今回の訪問は、小海町高原美術館で開催されたボツワナのアート展をきっかけに実現したもので、児童たちにとって世界を身近に感じる貴重な体験となりました。

小海小学校の3年生と4年生の英語の授業時間を使って交流が行われました。教室にはボツワナの国旗が飾られ、児童たちはゲストに向けて小海町や小海小学校を英語で紹介するプレゼンテーションを行いました。大使館職員との交流は、笑顔あふれるひとときとなり、異文化への理解を深めるきっかけとなりました。

授業の中心となったのは「ボツワナ動物クイズ」です。「野生のライオンに遭遇したらどうするのか」「キリンやシマウマはどのように暮らしているのか」といった問いに対し、セケレさんは実体験を交えながら分かりやすく教えてくれました。現地の食べ物、学校や生活習慣の話もあり、文化の違いを学ぶ場面に、児童たちは目を輝かせて聞き入っていました。



交流の終盤には、児童たちが心を込めて作った折り紙や工作のプレゼン



トをセケレさんに手渡し、感謝の気持ちを伝えました。セケレさんからは「小海町の子どもたちの知的好奇心と優しさに感動した」との言葉が寄せられ、参加した児童たちにとって忘れられない思い出となったようです。

今回の交流は、単なる文化紹介にとどまらず、異なる背景を持つ人々が互いに尊重し合う多文化共生について学ぶことを目的としています。今後もこのような交流や体験の機会を通じて、子どもたちや住民が多様な文化に触れ合える町づくりを進めていきます。

小海町・佐久穂町同盟協定

両町の全小・中学校で地域食材を味わいました

小海町・佐久穂町の地域食材を使用した、両町同一献立の給食が提供されました。

各校の栄養教諭・管理栄養士が力を合わせ、地元の食材を使用した特別献立でした。

当日はやまめの特徴やきざみ梅が作られるまでの様子を写真やクイズで楽しく学びながら地域の食材を味わいました。

小海小・中学校



佐久穂小・中学校 大日向小学校



特別献立メニュー

- ・きびごはん
- ・やまめのねぎレモンソース
(八千穂漁業のやまめ)
- ・梅マヨサラダ
(小海町の直売所「きざみ梅漬け」使用)
- ・さくほーめんの清流汁
(筍の野菜入りスープ)
- ・りんご



おいでよ佐久穂 イベント情報



佐久穂町のイベント情報だよ！
みんな来てね～！

小海町と佐久穂町の同盟事業に基づき、佐久穂町のイベント情報をお知らせいたします。
となり町のイベントにお気軽にお出かけください。皆様のご来場をお待ちしております。

期 日	内 容	会 場	主 催
2月21日(土)	14:00 誰でも学べる古文書教室② どの殿様の支配下に入るか	茂来館	公民館
2月22日(日)	13:00 ステンドグラス講座⑧ 桃の節句・端午の節句12/2～受付	茂来館	公民館
3月1日(日)	14:00 文化芸術講座④ 蒼い記憶－満蒙開拓と少年たち－上映会	茂来館	公民館
3月8日(日)	14:00 さくほスタインベルクピアノコンサート 福本純也ジャズ	茂来館	公民館
3月21日(土)	14:00 誰でも学べる古文書教室③ 村の祭や芝居興行に関わる古文書を読む	茂来館	公民館
3月22日(日)	13:00 ステンドグラス講座⑨ 桃の節句・端午の節句12/2～受付	茂来館	公民館
3月28日(土)	10:30 昔ばなしのおはなし会	図書館	図書館

【お問合せ】 佐久穂町教育委員会生涯学習課

佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」 〒384-0503 長野県南佐久郡佐久穂町大字海瀬2570

TEL：■茂来館代表佐久穂町公民館 0267-86-2041 ■佐久穂町図書館 0267-86-7020

■奥村土牛記念美術館 0267-88-3881

■ふるさと遺産収蔵館（むかたん）0267-88-7133

○3/1(日) 文化芸術講座 蒼い記憶
～満蒙開拓と少年たち～○3/8(日) さくほスタインベルクピアノ
福本純也ほっとジャズコンサート

○概要 終戦から80年。戦争の記憶が薄れつつある今、未来へ語り継ぐことが大切です。佐久穂町からも満蒙開拓青少年義勇軍として満州へ渡った方々がいました。アニメ映画「蒼い記憶－満蒙開拓と少年たち－」は、戦時下を生きた子どもたちの姿を描き、平和の尊さを改めて考えさせてくれます。子どもから大人まで、ぜひご鑑賞ください。

○日 時 令和8年 3月1日(日) 14時00分 ～ 15時30分

○会 場 佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」メリアホール

○受講料 無料

○町内外を問わず、どなたでも受講できます

○お問い合わせは佐久穂町公民館まで(TEL:0267-86-2041)

水と緑のうろおい 人の営みが奏でる 未来のふるさと
主催：佐久穂町公民館

茂来館アラウンド20歳記念事業 さくほスタインベルクピアノ

第13回 ほっとジャズコンサート

2026 3/8(日) 開場 13:30 開演 14:00

福本純也 チョコ・ラ・テ・ ピアノトリオ公演

会場 佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」メリアホール
〒384-0503 長野県南佐久郡佐久穂町大字海瀬2570

チケット 全席自由席 税込価格

一般前売 1,500円 (当日1,800円)
高校生以下前売 800円 (当日1,000円)
未就学児無料 ※お席が必要な場合はチケットをお求めください

予定プログラム
○ J-POPメドレー
○ リバートンゴ
○ A列車でいこう
○ 熊蜂の飛行 他

お電話予約・お問合わせ
0267-86-2041
佐久穂町公民館 (月曜休館)
※お電話予約可(当日までの置きチケット対応)

Web予約
QRコード

主催 佐久穂町教育委員会・公民館

国民年金保険料を納付書で納めている方へ

口座振替やクレジットカードでのお支払いがお勧めです!

3つのおすすめ

1. 金融機関等へ支払いに行く手間が省けます。
2. 保険料の納め忘れがありません。
3. 口座振替は前納割引で、さらにお得。



【手続き方法】

申込みされる方は、口座振替の場合は「国民年金保険料口座振替納付申出書」、クレジットカードでの納付を希望される方は「国民年金保険料クレジットカード納付申出書」をお近くの年金事務所または役場へご提出ください。

【お申込み期限】

- まとめて前払い（前納）の場合
「6か月前納（4月～9月）」「1年前納（4月～翌年3月）」「2年前納（4月～翌々年3月）」を希望の方
- 毎月払いをご希望の場合は、いつでも申込みでき、申込みの1～2か月後からの開始となります。

◇問い合わせ先◇ ねんきん加入者ダイヤル ☎0570-05-1165（ナビダイヤル）

・受付時間 月曜日 午前8時30分～午後7時 火～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
第2土曜日 午前9時30分～午後4時
土・日・祝日（第2土曜日を除く）、12月29日から1月3日はご利用いただけません。

小諸年金事務所 ☎0267-22-1080

・お誕生 おめでとうございます		十一月 渡邊 紗来 <small>さら</small> 奈々		・ご結婚 おめでとうございます		十月 鷹野 紗輝 松原		十月 篠原 幸子 宮下		古清水 カネ子 本間下		篠原 梅雄 鑑掛		篠原 久男 本間下		小池 多喜子 八那池		黒澤 ひな子 中村		井出 直義 親沢		十一月 黒澤 一枝 本村		渡邊 宣子 土村榮町		渡邊 米子 芦谷		井出 信人 鑑掛		有坂 貴美恵 本村		新津 陟成 土村旭町		小池 くに子 八那池		有坂 民雄 本村		黒澤 清文 大州		十二月 松本 咲子 本村		井出 文雄 稲子		井出 勝博 親沢		新井 直人 川平		辻田 幸子 宿渡	
--------------------	--	--------------------------------------	--	--------------------	--	-------------------	--	-------------------	--	----------------	--	-------------	--	--------------	--	---------------	--	--------------	--	-------------	--	--------------------	--	---------------	--	-------------	--	-------------	--	--------------	--	---------------	--	---------------	--	-------------	--	-------------	--	--------------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--

戸籍の窓

「戸籍の窓」は小海町に住所がある方・小海町に届出をされた方に掲載の許可をいただいた場合に掲載しています。
要望により婚姻に限り、小海町に住所がない方で町外に届出をされた場合も、小海町出身者に限り掲載します。希望される方は役場窓口係までお申し出ください。

小海町交通安全協会 フォトニュース

～長野県交通安全スローガン～【信濃路は

みんなの笑顔 つなぐ道】

12月17日、年末の交通安全運動の取組みとして、農産物直売所および郵便局前で交通安全を呼びかける人波作戦を行いました。

〈自転車安全利用五則を守りましょう!〉

- ①車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③夜間はライトを点灯 ④飲酒運転は禁止 ⑤ヘルメットを着用



〈令和8年4月1日から自転車の交通違反にも「交通反則通告制度(いわゆる青切符)」制度が導入されます〉

これまで自転車の交通違反は、重大な場合を除き、警察官による指導や警告が中心でした。しかし、令和8年4月1日からは、車と同様に対象の違反には青切符が適用され、違反内容に応じて反則金の納付が求められることになります。

・対象：16歳以上の運転者 ・対象違反：信号無視、一時不停止、ながらスマホ、右側通行など

自転車の交通ルールや制度の内容を正しく理解し、安全な利用に努めましょう。

小海町では、自転車乗車時のヘルメット着用を推進するため、補助金の交付を行っています。

内 容	自転車用ヘルメット購入費の1/2を助成（上限4,000円）※安全基準を満たす新品のヘルメットに限ります
対 象 者	小海町に住所を有し居住する方 ※対象者1人につきヘルメット1個とします
申請方法	申請書に領収書の原本とカタログ又は取扱説明書を添付してご提出ください

詳しくは役場生活環境係（92-2525）へお問い合わせください。

中部日本横断自動車道建設促進大会に出席しました

～こうみ女性みちの会～



令和7年12月18日、東京都内で開催された「中部日本横断自動車道建設促進大会」に、こうみ女性みちの会から4名が出席しました。

大会では、長野県内のみちの会を代表して、みなみまき女性みちの会が意見発表を行い、道路整備への要望や地域の声が伝えられました。あわせて、事業の進捗状況や今後の整備方針について説明があり、道路整備の重要性を改めて確認しました。

令和8年度 長野県シニア大学佐久学部の学生募集

幅広い分野の学習を通して、自分づくりや仲間づくり、地域活動を学びます。

- | | | | |
|-------|------------------------------|-------|---------------------------------------|
| ◇入学資格 | 50歳以上の佐久／上小圏内に在住の方 | ◇募集定員 | 80名 |
| ◇学習期間 | 2年間 | ◇申込方法 | 願書を佐久保健福祉事務所福祉課へ持参または郵送で提出 |
| ◇学習時間 | 年間60時間（15日×4時間）※変更の可能性あり | | ※願書は申込窓口で配付 |
| ◇授業料等 | 年額1万2,000円 別途、教材費や自治会費等の費用あり | | ※申込時に住所・氏名記入の返信用の長形3号封筒（110円切手 貼付）を提出 |
| ◇学習内容 | 教養講座、趣味・健康・交流講座、地域づくり講座 | ◇募集期間 | 令和8年2月2日(月)～3月31日(火) |

佐久保健福祉事務所福祉課 ☎0267-63-3141

佐久総合病院附属小海診療所診療体制変更のお知らせ

小海診療所は1954年の開設以来、南佐久郡南部地域の医療を担ってまいりました。2026年4月より外来診療体制を変更し「行けば元気になる、つい立ち寄りたくなる、えきなかの居場所」として、地域活動や予防保健にも力を入れてまいります。

2026年4月
から
の変更点

- ・外来診療を担当する医師が変わります。
- ・外来診療日は週3日となります。
- ・診療のない日は、健康づくりや交流の場として活用します。



南部地域の皆さまに寄り添い、ともに未来へつながる診療所として

曜日	午前（8：30～11：00）	午後
月	宇戸谷翔太	フットケア外来（14：00～）※第3、予約制
火	—	—
水	由井 和也	—
木	—	眼科（13：30～15：00）※第1・3、電話受付8：30～（当日のみ） 皮膚科（13：30～15：00）※第4、受付8：30～（事前予約可能）
金	宇戸谷翔太	—

※訪問診療はこれまで通り平日の午後に行います。

【お問い合わせ先】 JA長野厚生連 佐久総合病院附属小海診療所 ☎0267-92-2163（担当：宇戸谷）



中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する「環境影響評価準備書」及び「都市計画案」を公表し説明会を開催します

中部横断自動車道（長坂～八千穂）に関する環境影響評価準備書及び都市計画道路の変更案について、広く皆様からのご意見をお聴きするため、準備書及び都市計画の変更案を縦覧し、準備書の内容について説明会を開催します。

1 縦覧場所

- ①長野県庁建設部都市・まちづくり課（環境影響評価準備書、都市計画案）
- ②長野県佐久建設事務所整備課（環境影響評価準備書、都市計画案）
- ③佐久市役所建設部道路建設課（環境影響評価準備書、都市計画案）
- ④小海町役場産業建設課（環境影響評価準備書、都市計画案）
- ⑤佐久穂町役場建設課（環境影響評価準備書、都市計画案）
- ⑥川上村役場建設課（環境影響評価準備書）
- ⑦南牧村役場産業建設課（環境影響評価準備書、都市計画案）
- ⑧南相木村役場振興課（環境影響評価準備書）
- ⑨北相木村役場経済建設課（環境影響評価準備書）
- ⑩国土交通省関東地方整備局長野国道事務所総務課（環境影響評価準備書）



2 縦覧期間

2月2日(月)～3月2日(月)（土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律第3条に規定する休日を除く）
午前8時30分～午後5時15分

3 インターネットによる公表

長野県建設部都市・まちづくり課ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/toshikei/infra/toshi/keikaku/keikaku/minamimakisaku.html>)

長野県佐久建設事務所ホームページ (<https://www.pref.nagano.lg.jp/sakuken/index.html>)

4 説明会

日 時	会 場	定 員
令和8年2月12日(木) 19:00～	小海町総合センター	240名
令和8年2月15日(日) 13:30～	南牧南小学校体育館	160名
令和8年2月15日(日) 16:30～	南牧村中央公民館	160名
令和8年2月17日(火) 19:00～	佐久市コスモホール	144名

※定員を超える場合は、入室をお断りする場合があります。

※大雪による交通障害等が発生する可能性がある場合は、説明会を延期します。そのお知らせは、当日の午前6時までに上記長野県建設部都市・まちづくり課ホームページに掲載します。

5 意見書の提出

対 象 環境影響評価準備書：環境の見地からの意見を有する人
都市計画案：地域の住民、利害関係を有する人

提出期間 令和8年2月2日(月)午前8時30分から令和8年3月16日(月)午後5時15分まで
※郵送の場合は令和8年3月16日(月) 必着

提出方法 縦覧場所にある所定の用紙に必要事項を記入の上、下記提出先へ持参するか、郵送して下さい。
※準備書に対する意見書については、メール又はFAXでも提出いただけます。
(メールアドレス：ikensyo-tce@pref.nagano.lg.jp、FAX：0267-82-7400)

提 出 先 環境影響評価準備書に対する意見 上記縦覧場所①から⑩のいずれかへ提出
都市計画案に対する意見 上記縦覧場所①から⑤、⑦のいずれかへ提出

北八ヶ岳松原湖温泉



八峰の湯

お食事処Information～冬季限定メニュー3月3日まで

★カキと野菜の塩タンメン 1,380円



牡蠣の旨味と野菜の甘みが溶け込んだ優しい塩味のスープに、タンメンに合う太麺を使用。キャベツ、ハクサイ、玉ねぎ、もやし、ニラ、

ニンジンが入った栄養満点で満足度の高い一杯です。

★トマトチキンの石焼きチーズカレー 1,550円



玉ねぎ、ニンジン、セロリを使用した特製トマトソースに絡めたチキンを石焼きの器に入れ、チーズカレーと一緒に熱々で焼き上げています。石焼きなら

ではの香ばしさと、とろけるチーズが食欲をそそる一品です。

各種ご宴会承り中

★料金の目安 宴会料理はお一人様4,000円から。

信州産の食材を活かした鍋料理、揚げ物、お刺身など、ご予算や希望に合わせた内容を相談できます。

★飲み放題プラン 2,500円（2時間）で追加可能です。

★会場 施設内の和室（個室）お座敷席を利用可能です。 ★特典 無料送迎についても相談可能です。

サウナ熱波イベント

★熱波師ごはんさん 2月22日(日) 男性サウナ室 18:00

熱波師「ごはん」さん

県内のサウナ施設で活動する、熱い熱波を得意とする注目の熱波師で、サウナ室にて変幻自在の技術で人々を「ととのい」へ導きます。月に一度のイベントはファンも多く、力強い熱風でサウナー（サウナ愛好家）を魅了している熱波師です。



★マジシャン熱波師やぎさん（男性サウナ室）・たまにずくだすちえみさん（女性サウナ室）

2月28日(土) 13:00 15:00 17:00 18:00



マジシャン熱波師やぎさん

マジックと熱波で人々を笑顔にするフリーパフォーマーです。県内を中心に活動し、サウナでの熱波イベントや、保育園・幼稚園などでギターを使った手遊び歌とマジックを披露するキッズショーが得意で、温かいパフォーマンスで「ととのい」と笑顔を届けています。

熱波甲子園2024秋 準優勝 風力数値トップ



「たまにずくだすちえみさん」
（やぎさんの弟子：子やぎ隊）

県内を中心に活動する女性熱波師で「やぎさん」とともに、男女ダブル熱波イベントを行うことが多く、大きなタオルを操りながら熱風を届ける華麗なパフォーマンスが特徴で、サウナーの間で親しまれている存在です。

★サウナの日 3月7日(土) 一年に一度のサウナイイベント開催

熱波師「ごはん」さん来館 詳しくは **SNS要チェック**

第20回ニフティ温泉年間ランキング2025

ニフティ温泉掲載店約22,000件の中から絶景部門TOP30（第26位）に選ばれました。源泉かけ流しの温泉は、湯量豊富で泉質も抜群。露天風呂からは、雄大な北八ヶ岳の山々を一望でき、四季折々の大自然が織りなす絶景は、まさに圧巻です。湯上りには、地元的新鲜な食材を活かしたお食事をご用意しております。この機会にぜひ、絶景と名湯が織りなす至福のひとときを「八峰の湯」でご体感ください。皆様のご来館を心よりお待ちしております！

メンテナンス休館 3月4日(水)～5日(木)

従業員募集 ヤッホーのスタッフ募集中です。熱波イベントで扇いでみたい方、興味のある方も募集しています。
アルバイト募集 繁忙期のアルバイトを募集しています。

お問い合わせ先 八峰の湯 TEL.0267-93-2288

ヤッホーの湯 検索

子育て支援だより

2・3月の子育て支援教室

お問い合わせ

小海なかよし児童館 92-2580

子育て支援センター事業【乳幼児親子対象】

※事前に申し込みが必要です

★パパママ・カンガルーひろば

・2月19日(休) 10時～ 「お楽しみ会」

★おもちゃランド

・3月5日(休) 10時～ 「大きくなったね」

児童館事業【小学生対象】

★子ども教室

・2月18日(休) 放課後～ 「紙しばい」

・3月26日(休) 9時～ 「春休みイベント」

★子ども探検隊【小学生対象】

・2月21日(出) 9時～ 「雪あそび」



スケート遊び楽しかったね!～小海保育所親子スケート教室～



1月23日に松原湖高原スケートセンターにて、保育所年長児の親子スケート教室が開催されました。「スケートを滑るのは初めて!」というお友達がほとんどではありましたが、毎年お世話になっている菊池コーチにご指導いただき、親子で楽しくスケート遊びの体験ができました。氷点下の寒さもへっちゃら! さすが元気な小海っこ!



氷点下の朝、地域で見守る登下校

冷え込みが厳しい午前7時。小海町では、子育てサポートこうみや地域企業の皆様による「見守り隊」が、子どもたちの登下校を優しく見守ってくださっています。

この活動は単なる安全確保だけではありません。交わされる「おはよう」という何気ない挨拶の積み重ねが、地域の絆を育み、温かなコミュニティを支える大きな力になっています。

冬の厳しさが続く毎日ですが、どうか皆様、ご自身の健康を第一に、無理のない範囲で子どもたちの背中を支えていただくと幸いです。いつも本当にありがとうございます。



結婚推進事業 ～婚活のすすめ～

◆小海町結婚相談

月～金曜日の8時30分～17時15分まで、小海なかよし児童館にて受付けております。

お気軽にご相談ください。相談はご本人でもご家族でも結構です。詳しくは町ホームページでご確認ください。

◆白樺結婚相談（小海町・佐久穂町・南相木村）

・3月15日(日) 13時30分～16時 佐久穂町 生涯学習館花の郷・茂来館（佐久穂町海瀬2570）

♡小海町・佐久穂町・南相木村合同イベント「スノーシューでさんぽコン」参加者募集のお知らせ♡

スノーシューの体験、ランチ、交流会のイベントです。

日時：令和8年2月28日(出) 午前10時30分から午後3時まで

場所：ロッジハケ嶺周辺 対象者：20歳以上の独身の方

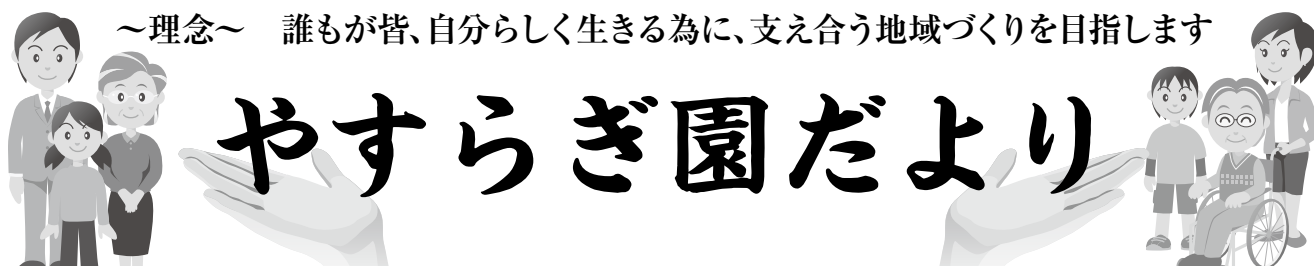
参加費：男性3,000円 女性2,000円

2/19メ切☆



お申込はこちら





～理念～ 誰もが皆、自分らしく生きる為に、支え合う地域づくりを目指します

やすらぎ園だより

No.223

〈編集・発行〉社会福祉法人 小海町社会福祉協議会／〒384-1103 長野県南佐久郡小海町大字豊里805番地 TEL. 92-4107(代) FAX. 92-2457

長野県共同募金会小海町支会より 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動結果報告

令和7年度 赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金集計表

NO	地区分団名	合計	NO	地区分団名	合計	NO	地区分団名	合計
1	本 間 下	150,000	13	八 那 池	132,100	25	卒 道	32,000
2	本 間 上	78,000	14	松 原	100,000	26	笠 原	14,000
3	宮 下	39,000	15	芦 平	22,000	27	宿 渡	31,000
4	本 間 川	56,000	16	稲 子	97,000	28	土 村 南 町	88,418
5	溝 の 原	25,400	17	二 タ 小 池	51,000	29	土 村 旭 町	78,000
6	五 箇	12,000	18	箕 輪	22,500	30	土 村 栄 町	78,000
7	杉 尾	30,000	19	芦 谷	73,000	31	土 村 清 水 町	50,000
8	馬 流 元 町	50,500	20	小 海 原	7,000	32	東 馬 流	115,000
9	馬 流 高 根 町	45,000	21	中 村	31,000	33	大 州	17,000
10	馬 流 本 町	45,000	22	本 村	113,000	34	大 畑	61,500
11	馬 流 清 水 町	29,300	23	親 沢	121,000			
12	鑑 掛	106,000	24	川 平	42,000		合 計	2,042,718

日赤奉仕団員の皆様が伺い集めさせていただきました共同募金は2,042,718円集まりました。長野県共同募金会に納めさせていただき地域の助け合いや福祉活動等の支援に使われます。皆々様、ご協力ありがとうございました。

令和7年度 ご近所支え合い講座のお知らせ

『学んで備えよう軽度認知症MCI』 ～いつでもできる認知症予防体操～

- *日 時 令和8年3月7日(出) 13:30～ (受付13:00～)
- *場 所 小海町総合センター 多目的ホール
- *講 師 佐久平駅前メンタルクリニック 院長 中村公哉 氏
一般社団法人 健康福祉広域財団 代表 中村 崇 氏
小海町包括支援センター 保健師
- *参加対象 小海町にお住まいの方、小海町で働いている方
- *参 加 費 無料



参加申込・・・2月27日(金)までに社会福祉協議会 (92-4107) へお申し込みください。

小海町シニアクラブ連合会 「しめ縄づくり」

小海町シニアクラブ連合会では、毎年暮れにしめ縄づくりを行っております。

今年度は、12月18日に総合センターで行いました。わら、松、豆がら等を持ち寄り、昆布、炭、みかん、紙垂を付けた三間物や、棒締めなどをつくり、小海町役場や交番などの公共機関や施設に配り、飾って頂きました。皆さんの目にも留まったかと思います。



しめ縄の「しめ」という言葉は、「神様の占める場所」という意味があるとされ、自分の家が、年神様を迎えるのにふさわしい神聖な場所であることを示すために始まったといわれています。12月19日には、小海なかよし児童館で、世代間交流ということで、児童と一緒にしめ縄づくりを行いました。これからもシニアクラブでは地域の伝統である「しめ縄」づくりを、子供達や地域に伝えていきたいと思っています。

自主避難計画(防災ささえあいマップ)を作成しています

自然災害は決して他人事ではありません。近年多発する自然災害から身を守るための備えとして、社会福祉協議会では町からの委託を受け、地区の皆さまと共に自主避難計画を作成し、作成した冊子を地区の全戸に配布しています。

自主避難計画には災害が発生した際の避難するためのルール、災害に備えて準備しておくもののチェックリスト、災害に対する予備知識、地区の皆さまと作成したその地区の危険箇所、過去に起きた災害箇所の防災マップが掲載されており、避難する際、避難所までの安全な経路が確認できるようになっています。

自主避難計画(防災ささえあいマップ)は各地区の皆さまのご協力により、今年度は、馬流元町地区、馬流高根町地区、馬流本町地区、馬流清水町地区、溝の原地区の5地区で作成しております。

また一人では避難が難しい方の援助など、地域の皆さまで助け合うためのささえあいマップも同時に作成しています。災害への備えと共に、平時の見守りにも役立ちます。ささえあいマップに関しましては、各地区で随時見直しをお願い出来ればと思います。よろしくお願い致します。



「ふれあい会」会員募集のお知らせ

ひとり暮らしの会「ふれあい会」は、65歳以上のひとり暮らしの方を対象にした会です



ふれあい会では、年間を通して2～3ヶ月に1度、研修旅行や、議会の傍聴、日帰りでの温泉旅行などを行い、心身ともにリフレッシュを図り、会員同士の親睦を深めています。

ひとり暮らしの方、是非「ふれあい会」に参加して、楽しく仲間づくりをしませんか？
随時、会員募集しています！

去年の活動内容

- ・議会傍聴
- ・定例会（日帰りで温泉へ）
- ・研修旅行（旅館での宿泊）
- ・新年会



第41回 佐久地区ボランティア 地域活動フォーラムがありました

昨年11月21日に南牧村中央公民館において、佐久地区ボランティア地域活動フォーラムが開催されました。今年度は「食をととした困窮者支援に関わり続けて四半世紀～民間支援から見えてきたこと」と題し、山谷農場主宰の藤田寛氏の講演と、佐久市、南牧村の福祉施設の出展と、南牧村社会福祉協議会が居場所づくりとして始めたカフェの出展がありました。

小海町からはボランティア連絡協議会の会員11名の参加者がありました。

藤田さんは神奈川県内での仕事を続けながら、週末だけ小海町を拠点に、長野県内を始め新潟県からの寄付で集まったお米や野菜などを、東京や名古屋、大阪等で生活困窮者の支援をしている団体へ送る活動をたった一人で四半世紀も続けていらっしゃいます。一人で四半世紀続けて来られたのは、「支援者の方々から信頼されたのかな・・・」とおっしゃっていましたが、「クリスチャンの使命として、信仰半分、意地半分、何とかしてあげたい！」という気持ちからと語っていらっしゃったのがとても印象的でした。

今までに藤田さんに協力した参加者もいて、身近な藤田さんのお話に皆さん聞き入っていました。

昨年は米不足で四苦八苦したようでしたが、米に代わる物として、ジャガイモやカボチャなど日持ちのする野菜などの提供を呼びかけ、反響があったようです。小海町社会福祉協議会でも日頃皆様から寄付していただいている、未使用切手やはがきなどは、藤田さんの活動にご協力させていただきます。お米などと共に引き続きご寄付をお願いいたします。藤田さんの活動に今後も協力していきたいと思えます。



小海町ボランティア連絡協議会 活動報告

**役場周辺の落ち葉拾いや
除草作業を行いました！**

令和7年11月10日にシルバー人材センターの会員の皆さんと連携し、役場周辺の落ち葉拾いおよび除草作業を実施しました。当日は会員の皆さんを含め多くの方にご参加いただき、落ち葉等を集める方、ごみ袋に詰める方、運搬する方など、それぞれが役割を分担し、効率的に作業を進めることができました。その結果、1時間ほどで役場周辺がすっきりと綺麗になりました。

中には鎌や熊手を持参してくださる方もいて、積極的に参加する姿が印象的でした。今回が初めての取り組みでしたが、今後も継続していければと考えています。

**一緒に活動してくださる方を募集しています！**

ボランティア連絡協議会では共に活動してくださる方を募集しています。ボランティア団体には、困りごと解決の「つながり隊」や環境の整備を行う「花を愛する会」、施設やサロンにて活躍する「おはなし本舗」など全部で14団体あり、様々な活動を行っています。各団体の詳しい内容は今後の館報で紹介していきますので

お見逃しなく！興味のある方は、小海町社会福祉協議会（Tel 92-4107）までお問合せください。



小海町公民館ニュース

教育普及活動報告

令和七年度は様々な教育普及活動を実施してきました。ギャラリートークや鑑賞授業なども充実しましたが、人気を博したのは体験系のイベントでした。去年度引き続きベルギーから来町した作家、エリン・デ・クラークさんは夏のキッズワークショップとして、参加者と共に小海町の空や雲をスケッチしました。地層を服としてまとい、町中に突然姿を現したのはシンビズム6作家の細萱航平さんです。団体見学に訪れた小海町三年生のみならず、偶然その場に居合わせた観光客の方とも不思議な交流を行いました。その他、アメリカの作家が使用した材料であるマスキングテープを用いた空間装飾、ビー玉を転がして絵を描くザワメキアート体験を行いました。来年度もユニークかつ貴重な美術体験をしていただける企画を考えていきます。お楽しみに。



フォトニュース



1月11日(日) 数年ぶりに行われた馬流区のかんがり



2025フォトコンテスト カメラ賞「厳寒の朝」 新海修氏

小海の植物
草木染からの色の物語

文・写真／草木染の会 四反田 有弘

「草木染の会」主宰 森林インストラクター

「赤」太陽によって一日がアケル、その言葉が「アカ」になった。赤は正に神の色といえる。太陽は高く昇り、人に光

を与え、植物を育む。そして西の空に傾くときには、その光に感謝し、それから暗闇の世界に入る事への一抹の寂しさを含め、地平線に沈み行く太陽を見送りながら祈った。そして暗闇の中に光を与え、獲物を焼き、煮炊きして生活に安らぎをもたらす「火」を発見。さらに人間の体内に流れる生命の源である「血」にも赤を発見したのである。「陽火」「血」という赤色のものは生きて行く根源であり、生活の中にも赤を現わしたいと感じ、赤によって人目を引き付けたいとした。こうして日本人は生活の中で、四季折々の植物や天然現象などを身近にし、そこから感受したものの色名としてきたと言える。飛

鳥時代聖徳太子による「冠位十二階制」が染織を発展させ、その材料の植物や景色の変化に名を付けてきた。それ故に、日本の伝統色「三三三三」の内植物名が一五〇種あり六十六%に達し、英仏のそれは三十%で、植物名が多い。「赤色」には抽象的なイメージとしては「威厳・情熱・愛情」と「革命・危険・魔除」などがあります。正月には赤飯「小豆色」を炊いて祝います、そこには南天を添えます、これは邪気を払う、難を転じるの意味があります。また正月飾りに用いられる「橙」は「代々栄える」縁起から。二月は「節分」です、京都の神社では追儺式で平安王朝絵巻の彩り鮮やかな装束（黄丹色）で豆を

撒いて厄除け・招福を祈ります。三月は「桃の節句」「雛祭り」です、平安時代の「流し雛」新生児の厄を人形に移して無病息災を祈るが由来です。桃「桃染色」を飾るのは、古くから桃は女性を象徴し、邪気を祓う縁起物とされてきました。こうして一年の初めは邪気を祓って、招福を「赤色」に託したのでは無いでしょうか。これらの色出しの染料は「茜」「紅花」「蘇芳」と補助的に「梔子」「黄蘗」を使います。尚、平安神宮や宮廷、神社の鳥居に「朱色」で彩色されるのは邪気払いと権威の象徴を表わすと云われています、材料の「朱・并柄」は土から取れた金属化合物です。

